シンガポール金融管理局による監督上の措置

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

BSI Bankの閉鎖

2016年5月24日、シンガポール金融管理局（Monetary Authority of Singapore、MAS）は、BSI Bank Limitedのシンガポールにおけるマーチャントバンクとしての地位を取り消すと発表しました。理由として挙げられたのは、マネーロンダリング対策要件の重大な違反、銀行業務に対する経営陣の監督の不備、そして一部の従業員による重大な不正行為です。MASはまた、マーチャントバンクに適用されるマネーロンダリング防止に関する通達であるMAS通達（Notice）1014の41件の違反について、1,330万シンガポールドルの制裁金を科す旨を同行に通知しました。[1]発表では、従業員が監査人に重大な虚偽の説明を行い、資産の不適切な評価を幇助し、顧客の正当な代理人ではない者からの指示を受け入れていたことが説明されていました。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

この決定には、近年の先例がありませんでした。マーチャントバンクの認可が取り消されたのは、1984年にJardine Fleming (Singapore)が閉鎖されて以来初めてのことでした。MASはまた、元最高経営責任者と元副最高経営責任者を含む、同行の現旧の経営幹部および従業員6名を検察官（Public Prosecutor）に付託しました。[2]MASの長官（managing director）であったラヴィ・メノンは、BSIを、MASがシンガポールの金融セクターで目にした「統制の欠如と重大な不正行為の最悪の事例」と呼びました。[3]

閉鎖は、同行の顧客を保護するように組み立てられていました。MASは、シンガポール拠点の資産と負債を、EFG Bankのシンガポール支店または親会社であるBSI SAに移転することを認めました。MASは、EFG InternationalによるBSIグループの買収を承認した母国監督当局であるスイス金融市場監督機構（FINMA）と協力しました。[4]この秩序ある業務の縮小は、規制当局が預金者に損害を与えることなく金融機関を市場から退出させることができることを示しました。この教訓は制裁の信頼性にとって重要でした。閉鎖が顧客に及ぼす影響を恐れる監督当局は、閉鎖をためらうからです。

Falcon Bankと二度目の閉鎖

2016年10月11日、MASはスイスのプライベートバンクであるFalcon Private Bankのシンガポール支店のマーチャントバンクとしての地位を取り消しました。理由として挙げられたのは、マネーロンダリング対策上の統制の重大な不備と、スイスの本店および支店の経営幹部による不適切な行為です。FalconにはMAS通達1014の14件の違反について430万ドルの制裁金が科されました。[5]支店長は2016年10月5日に商業犯罪捜査局（CAD）に逮捕されていました。MASはまた、両替商Raffles Money Changeが処理した1MDB関連の取引を商業犯罪捜査局に付託しました。[6]

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

5か月以内の二度目の閉鎖は、明確なシグナルを発しました。外国銀行は、シンガポールでの不正行為の結果からシンガポール拠点を守るために海外の親会社に頼ることはできないということです。Falconの事例でMASが認定したように本店自体が機能していなかった場合、その結果は支店が負うことになります。

さらに6行への制裁

MASは、1MDBの資金が経由したその他の銀行についても調査しました。Falconに関する決定と同じ日に、MASは、銀行に適用される対応する通達であるMAS通達626について、DBS Bankに10件の違反で100万ドル、UBSに13件の違反で130万ドルの制裁金を科しました。いずれの事例でも、広範な統制上の弱点は認められませんでした。不備は、職務を効果的に遂行しなかった特定の行員に関するものでした。[7]

2016年12月2日、MASは、スタンダードチャーター銀行のシンガポール支店に対し、MAS通達626の28件の違反について520万ドルの制裁金を科しました。MASは、同行の顧客デューデリジェンス（CDD）と継続的モニタリングに重大な不備があったと認定しましたが、広範な統制上の弱点も故意の不正行為も認めませんでした。Couttsのシンガポール支店には、MAS通達1014の24件の違反について240万ドルの制裁金が科されました。これらの違反は、重要な公的地位を有する者（PEP）の口座に求められる厳格なデューデリジェンスに関するものでした。[8]MASは同日、ティム・ライスナーを証券業界から10年間排除する意向を通知しました。この命令は2017年3月に発出され、ライスナーが米国で有罪を認めた後の2018年12月に終身のものとされました。[9]

最後の二つの制裁は2017年5月30日に続きました。この日、MASはMAS通達626の違反について、クレディ・スイスに70万ドル、ユナイテッド・オーバーシーズ銀行（UOB）に90万ドルの制裁金を科しました。弱点は、

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

顧客に対するデューデリジェンスと、顧客の取引の不十分な精査に関するものでした。両行は、是正措置が講じられていることを確認するため、独立した第三者を任命しなければなりませんでした。[10]

禁止命令と審査の終結

2017年5月の決定をもって、MASは、当時判明していた1MDB関連取引に関与した銀行についての2年間にわたる審査を終えました。BSI、Falcon、DBS、UBS、スタンダードチャータード、Coutts、クレディ・スイスおよびUOBの8行に、総額2,910万ドルの制裁金が科されました。関係金融機関の元従業員4名に対しては10年から終身までの禁止命令が発出され、さらに3名に対しては3年から6年の命令が通知されました。[11]これらの命令には、Falconの元支店長と、ジョー・ローを担当していたBSIのリレーションシップ・マネージャーに対する終身の禁止が含まれていました。その補佐役は15年間の禁止とされました。[12]

これらの数字は、相対的に読む必要があります。2,910万ドルの制裁金は、銀行を経由した金額と比べれば小さく、ゴールドマン・サックスが2020年に米国その他の当局に支払うことに同意した29億ドルと比べればさらに小さいものです。[13]シンガポールもこの和解の一部を受け取りました。2020年10月、商業犯罪捜査局は、Goldman Sachs (Singapore) Pte.に対し、汚職防止法（Prevention of Corruption Act）第5条(b)(i)に基づく3件の汚職の訴因について、起訴に代えて36か月の条件付き警告を発しました。その条件は、シンガポール政府に1億2,200万米ドルを支払うことでした。同社はまた、6,100万米ドルの手数料をマレーシア当局に吐き出しました。[14]シンガポールの対応の力は、別のところにありました。2行がライセンスを失い、個々のバンカーが刑務所に送られ、その他の者は終身の業務禁止を受けました。プライベートバンクにとって、シンガポールで営業する権利を失うことは、いかなる罰金よりもはるかに重い制裁です。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

審査が規制当局に教えたもの

ラヴィ・メノンは、審査の終結にあたって教訓をまとめました。MASはマネーロンダリング・リスクの監視を強化し、問題のある金融機関と個人に対して前例のない執行措置を講じたというのです。同氏の見解では、業界は不正が行われた当時よりも良い状態にありました。同氏はさらに、「規模と相互連関性が拡大する中で我々の金融センターをクリーンに保つための代償は、惜しみない警戒である」と付け加えました。[15]この最後の一文は、二度目の衝撃を予見するものでした。外国の富を引き寄せることで成長する金融センターは、常に犯罪に由来する外国の富の一部をも引き寄せることになります。問題は、その金融機関がそれを適時に発見できるかどうかです。

注

1. Monetary Authority of Singapore, “MAS directs BSI Bank to shut down in Singapore”, メディアリリース, 2016年5月24日（mas.gov.sg、2026年11月最終閲覧）：「serious breaches of anti-money laundering requirements」、経営陣の監督の不備および重大な不正行為を理由とするマーチャントバンクとしての地位の取消し。MASは「has also served BSI Bank notice to impose financial penalties」として、MAS Notice 1014の41件の違反について1,330万シンガポールドル。 ↩

2. Monetary Authority of Singapore, “MAS directs BSI Bank to shut down in Singapore”, 2016年5月24日：1984年にJardine Fleming (Singapore)が閉鎖されて以来初めてのマーチャントバンクの認可取消し。元CEOのHans Peter Brunnerおよび元副CEOのRaj Sriramを含む現旧の経営幹部および従業員6名を検察官に付託。Yeo Jiaweiはすでに起訴されていた。 ↩

3. Monetary Authority of Singapore, “MAS directs BSI Bank to shut down in Singapore”, 2016年5月24日、Ravi Menonの発言を引用：“BSI Bank is the

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

worst case of control lapses and gross misconduct that we have seen in the Singapore financial sector." ↩

4. Monetary Authority of Singapore, "MAS directs BSI Bank to shut down in Singapore", 2016年5月24日：EFG Bank AGのシンガポール支店またはBSI SAへの資産および負債の移転。EFG InternationalによるBSIグループの買収を承認したFINMAとの協力。 ↩

5. Monetary Authority of Singapore, "MAS directs Falcon Bank to cease operations in Singapore", メディアリリース, 2016年10月11日（mas.gov.sg、2026年11月最終閲覧）：「serious failures in anti-money laundering (AML) controls and improper conduct by senior management」を理由とするマーチャントバンクとしての地位の取消し。MAS Notice 1014の14件の違反について430万シンガポールドルの制裁金。 ↩

6. Monetary Authority of Singapore, "MAS directs Falcon Bank to cease operations in Singapore", 2016年10月11日：2016年10月5日の商業犯罪捜査局によるシンガポール支店長Jens Sturzeneggerの逮捕。Raffles Money Changeが処理した1MDB関連取引の付託。 ↩

7. Monetary Authority of Singapore, "MAS directs Falcon Bank to cease operations in Singapore", 2016年10月11日：MAS Notice 626について、DBSに10件の違反で100万シンガポールドル、UBSに13件の違反で130万シンガポールドルの制裁金。「MAS' inspections did not find pervasive control weaknesses within these banks」。 ↩

8. Monetary Authority of Singapore, "MAS imposes penalties on Standard Chartered Bank and Coutts for 1MDB-related AML breaches", メディアリリース, 2016年12月2日（mas.gov.sg、2026年11月最終閲覧）：MAS Notice 626の28件の違反について520万シンガポールドル（Standard Chartered）、MAS Notice 1014の24件の違反について240万シンガポールドル（Coutts）。後者は重要な公的地位を有する者の口座に対する厳格なデューデリジェンスに関するもの。 ↩

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

9. Monetary Authority of Singapore, “MAS imposes penalties on Standard Chartered Bank and Coutts for 1MDB-related AML breaches”, 2016年12月2日：Tim Leissnerに対し“for a period of 10 years”の禁止命令を発出する意向の通知。Wikipedia, “1Malaysia Development Berhad scandal”（2026年11月最終閲覧）：命令は2017年3月に発出され、Leissnerが起訴事実を認めた後の2018年12月に終身のものとなった。 ↩

10. Monetary Authority of Singapore, “Financial penalties imposed on Credit Suisse and UOB for 1MDB-related transactions”, メディアリリース, 2017年5月30日（mas.gov.sg、2026年11月最終閲覧）：MAS Notice 626の違反について70万シンガポールドル（Credit Suisse）および90万シンガポールドル（UOB）。顧客デューデリジェンスの弱点と取引の不十分な精査。是正を確認するための独立した第三者の任命。 ↩

11. Monetary Authority of Singapore, “Financial penalties imposed on Credit Suisse and UOB for 1MDB-related transactions”, 2017年5月30日：「two-year review of banks involved in 1MDB-related transactions known to-date」の完了。8行に総額2,910万シンガポールドルの制裁金。元従業員4名に対する「ranging from 10 years to lifetime」の禁止命令、および他の3名に対する3年から6年の命令発出の意向の通知。 ↩

12. Monetary Authority of Singapore, “Financial penalties imposed on Credit Suisse and UOB for 1MDB-related transactions”, 2017年5月30日：Jens Fred SturzeneggerおよびYak Yew Cheeに対する終身の禁止命令。Seah Mei Yingに対する15年間の禁止命令（2017年5月29日発効）。 ↩

13. 2020年10月のGoldman Sachsと米国司法省その他の当局との和解。約29億米ドルと報じられている。 ↩

14. Attorney-General’s Chambers, Commercial Affairs Department and Monetary Authority of Singapore, “AGC, CAD and MAS take action against Goldman Sachs (Singapore) Pte. on 1MDB bond offerings”, 共同メディアリリース, 2020年10月23日（mas.gov.sg、2026年11月最終閲覧）：Prevention of Corruption Act (Cap. 241) s. 5(b)(i)に基づく3件の訴因につ

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

いて、起訴に代えて36か月の条件付き警告。シンガポール政府への1億2,200万米ドルの支払い。マレーシア当局への6,100万米ドルの吐き出し（合計1億8,300万米ドル）。Securities and Futures Act s. 101に基づく、独立した外部の第三者を任命するよう求めるMASの指示。 ↩

15. Monetary Authority of Singapore, “Financial penalties imposed on Credit Suisse and UOB for 1MDB-related transactions”, 2017年5月30日、Ravi Menonの発言を引用：MASは「has enhanced its AML surveillance and taken unprecedented enforcement actions against errant institutions and individuals」。「Our financial industry is in a better position today than it was when the abuses stemming from the 1MDB-related flows took place」。「The price for keeping our financial centre clean as it grows in size and inter-connectedness is unstinting vigilance.」 ↩

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned. Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com